

令和8年度

各教科年間指導評価計画資料

府中市立府中第六中学校

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 国語科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	世界はうつくしいと/深まる学びへ/握手/1漢字に親しもう/学びて時に之を習ふ/意見を聞き、適切さを判断する/説得力のある構成を考えようスピーチで心を動かす/相手や場に応じた言葉遣い/漢文の訓読 季節のしおり春	34 書写 3
5	作られた「物語」を超えて/思考のレッスン具体化・抽象化/論理の展開を意識して書こう/熟語の読み方/漢字に親しもう2/俳句の可能性/俳句の創作教室/俳句を味わう	
6	言葉の釣り糸を垂らす/和語・外来語・漢語/語彙を豊かに/実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう/情報の信頼性	
7	読書を楽しむ/私の一冊を探しにいこう/羊と鋼の森/読書案内「本の世界を広げよう」/季節のしおり夏	
9	挨拶一原爆の写真によせて/故郷/論理の展開を整える/慣用句・ことわざ・故事成語/聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る/漢字の造語力	44 書写 5
10	複数の意見を読んで考えようー正解が一つに決まらない課題と向き合う/考えを効果的に伝えよう/漢字に親しもう3 文法への扉2「ない」の違いがわからない?/初恋/季節のしおり秋	
11	和歌の世界/音読を楽しむ古今和歌集仮名序/君待つと一万葉・古今・新古今/和歌の表現技法/夏草ー「おくのほそ道」から/俳句と俳諧/つながる古典/古典名作選/	
12	それでも、言葉を/漢字3漢字のまとめ/漢字に親しもう4/話し合いを効果的に進めよう/季節のしおり冬/合意形成に向けて話し合おう/本は世界への扉/天、共に在り/極夜行/読書案内 本の世界を広げよう	
1	温かいスープ/アラスカとの出会い/律儀な桜/わたしを束ねないで/三年間の歩みを振り返ろう/冊子にまとめて、発表会をする/	16 書写 2
2	初日/漢字に親しもう5/	
3	国語の力試し/百人一首	
	年間時数	105

2. 3学年国語科の目標

(1)	(2)	(3)
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	困難なことでもあきらめずに取り組んだり、一度答えを出したことでさらに考えを深めたりしようとしているとともに、学習の見通しをもったり、学習の進め方を変えたり、学習したことを振り返って価値づけたりしようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト(漢字・文法) ・語彙関連テスト (漢字小テスト・文法テスト) ・授業内の取り組み (ワークシートなど)	・定期テスト(読む・書く) ・発表 ・意見文・レポートなどの作成 ・授業内の取り組み (ワークシートなど)	・振り返りシートの記入 ・ノートやワークシートの記入状況 ・その他の提出物 ・授業観察 (学習課題に対して積極的に進んで取り組もうとしたり、粘り強く課題解決に取り組もうとする態度)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 社会科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名		時数
4 5 6 7	【歴史的分野】		12
	5章 開国と近代日本の歩み	3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業	
	6章 二度の世界大戦と日本	1節 第一次世界大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代	16
		3節 世界恐慌と日本の中国侵略 4節 第二次世界大戦と日本	
	7章 現代の日本と私たち	1節 戦後日本の出発 2節 冷戦と日本の発展	14
		3節 新たな時代の日本と世界 歴史的分野の構想	
9 10 11 12	【公民的分野】		8
	第1部第1章 現代社会と私たち	1節 現代社会の特色 2節 私たちの生活と文化	
		3節 現代社会をとらえる枠組み	26
	第2部第1章 日本国憲法と私たち	1節 民主主義と日本国憲法 2節 基本的人権の尊重	
		3節 法の支配を支えるしくみ	14
	第2章 政治と私たち	1節 民主政治と私たち 2節 国の政治のしくみ	
		3節 地方自治と私たち	26
	第3部第1章 経済活動と私たち	1節 経済のしくみと消費 2節 企業と生産	
		3節 市場経済と金融のしくみ 4節 財政と私たち	
		5節 日本経済の課題とこれから	
1 2 3	第4部 第1章 国際社会と私たち	1節 国際社会のしくみ 2節 地球的課題とその解決	14
	第5部 第1章 課題探究と私たち		10
年間時数			140

2. 3学年社会科の目標

	(1)	(2)	(3)
歴 史 的 分 野	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそって見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。
公 民 的 分 野	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(歴 史 的 分 野 的 趣 旨)	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそって見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
(公 民 的 分 野 的 趣 旨)	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査	提出物 課題 定期考査	提出物 課題 単元シート
割合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 数学科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名			時数
4	第1章 多項式	1節 多項式の計算		20
		2節 因数分解		
5		3節 式の計算の利用		
	第2章 平方根	1節 平方根		20
6		2節 根号をふくむ式の計算		
		3節 平方根の利用		
7	第3章 2次方程式	1節 2次方程式とその解き方		14
		2節 2次方程式の利用		
9	第4章 関数 $y=ax^2$	1節 関数 $y=ax^2$		
10	第5章 相似な図形	2節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方	3節 いろいろな関数の利用	18
		1節 相似な図形		
11		2節 平行線と比		
		3節 相似な図形の面積と体積		22
12	第6章 円	1節 円周角の定理	2節 円周角の定理の利用	9
	第7章 三平方の定理	1節 三平方の定理		15
		2節 三平方の定理の利用		
1	第8章 標本調査	1節 標本調査		
2	3年間の復習+入試演習			6
3				16
年間時数				140

2. 3学年数学科の目標

(1)	(2)	(3)
多項式の展開や因数分解, 平方根, 2次方程式の解き方, 関数 $y=ax^2$, 図形の相似, 円周角と中心角の関係, 三平方の定理, 標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の性質や計算について考察する力, 数量の関係や法則などを考察したりする力, 図形の構成要素の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目しその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力, 標本と母集団の関係に着目し集団の傾向を推定し判断したり, 調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・多項式の展開や因数分解, 平方根, 2次方程式の解き方, 関数 $y=ax^2$, 図形の相似, 円周角と中心角の関係, 三平方の定理, 標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の性質や計算について考察する力, 数量の関係や法則などを考察したりする力, 図形の構成要素の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目しその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力, 標本と母集団の関係に着目し母集団の傾向を推定し判断したり, 調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしたりしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・単元テスト ・小テスト(知識技能) ・発問に対する応答内容	・定期テスト ・単元テスト ・小テスト(思考判断表現) ・発問に対する応答内容	・問題への取り組み ・授業理解とまとめ(レポート) ・発問に対する応答 ・ノートなどの内容 ・自己評価の内容 ・小テスト(主体的な取り組み)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 理科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名		時数
4	理科A	理科B	45
5	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 酸・アルカリとイオン 3章 化学変化と電池	運動とエネルギー 1章 物体の運動 2章 力のはたらき方 3章 エネルギーと仕事	
6			
7			
9			
10	理科A	理科B	65
11	生命のつながり 1章 生命の成長と生殖 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の多様性と進化	地球と宇宙 1章 地球に運動と天体の動き 2章 月と金星の見え方 3章 宇宙の広がり	
12			
1			
2	地球と私たちの未来のために 1章 自然の中の生物 2章 自然環境の調査と保全 3章 科学技術と人間		30
3			
年間時数			140

2. 3学年理科の目標

(1)	(2)	(3)
身近な事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	身近な事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもつ観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだし課題を解決したりする力を養う。	身近な事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	物質やエネルギーに関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質やエネルギーに関する事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 方 法	・実験レポート ・実験・観察プリント ・定期テスト ・小テスト ・技能テスト など	・実験レポート ・実験・観察プリント ・定期テスト など	・授業観察 ・実験レポート ・授業の振り返り ・ワークや授業プリントの取り組み ・定期テスト など
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 音楽科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	歌声づくり「校歌」	11
5	日本の歌「花」 鑑賞 日本の三大伝統芸能	
6	指揮について	
7	合唱コンクール課題曲	
9	合唱コンクール課題曲・自由曲	13
10	鑑賞「ブルタバ」	
11	イタリア歌曲「帰れソレントへ」	
12	Let's Create	
1	器楽 ギター	11
2	鑑賞「ボレロ」	
3	式歌「旅立ちの日に」など	
年間時数		35

2. 3学年音楽科の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	ワークシート 実技テスト 定期テスト	ワークシート 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み 授業振り返りシート
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 美術科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	オリエンテーション 日本美術やアジアの文化遺産のよさや美しさを感じとる(鑑賞)	1 2
5	京都・奈良にある文化財のよさや美しさを点描画で表現する(絵画) 点描による陰影の表現を学ぶ	13
6	↓	
7		
9	日本美術や西洋美術についての学習(鑑賞) 本物そっくりな食品(彫塑) 食品のスケッチ・アイデアを考える	1 2
10	本物そっくりな食品を塑造によって表現する	10
11	↓	
12		
1	日本美術や西洋美術についての学習(鑑賞) 大切な思い出を飾るフォトフレーム(デザイン)	1 5
2	↓	
3		
年間時数		35

2. 3学年美術科の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・作品 ・定期テスト ・ワークシート	・作品 ・ワークシート(発想) ・定期テスト ・作品鑑賞のワークシート	・学習に向かう姿勢 ・作品 ・定期テスト ・作品鑑賞のワークシート
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 保健体育科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	体育分野: 体づくり運動、陸上競技(短距離走・リレー)、ラジオ体操第一	体 15
5	保健分野: 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み 体育理論: 文化としてのスポーツの役割	保 2
6	体育分野: 陸上競技(ハードル走)、体力テスト、バスケットボール	体 20
7	保健分野: 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み	保 3
9		
10	体育分野: バレーボール・バドミントン、ハンドボール、器械運動(マット運動)	体 26
11	保健分野: 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み、環境の健康への影響	保 8
12	体育理論: 文化としてのスポーツの役割	
1	体育分野: 3年間の球技のまとめ、ニュースポーツ	体 24
2	保健分野: 環境の健康への影響	保 7
3	体育理論: 文化としてのスポーツの役割	
年間時数		105

2. 3学年保健体育科の目標

(1)	(2)	(3)
【体育分野】 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 【保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【体育分野】 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【保健分野】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【体育分野】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 【保健分野】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	【体育分野】 各運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義の考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	【体育分野】 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	【体育分野】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	○実技テスト ○定期テスト ○授業観察	○定期テスト ○学習レポート ○授業観察	○定期テスト ○学習レポート ○授業観察
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	ガイダンス Cエネルギー変換の技術	0.5 1
5	D情報の技術	14
6	D情報の技術 計測・制御のプログラミング	
7	D情報の技術 計測・制御のプログラミング	
9	D情報の技術 計測・制御のプログラミング	
10	D情報の技術 計測・制御のプログラミング 双方向性のあるコンテンツのプログラミング	
11	D情報の技術 双方向性のあるコンテンツのプログラミング	
12	D情報の技術 双方向性のあるコンテンツのプログラミング	2
1	D情報の技術 双方向性のあるコンテンツのプログラミング	
2	D情報の技術 双方向性のあるコンテンツのプログラミング 技術分野の出口 総合実習	
3	技術分野の出口 総合実習	
年間時数		17.5

2. 2学年技術・家庭科(技術分野)の目標

(1)	(2)	(3)
生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術や情報の技術について、基礎的な理解とそれに係る技能、生活や社会、環境との関わりについて習得する。	生活や社会の中から技術に関わる問題点を見出して課題を設定し、試作等によって具体化し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を育成する。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫しようとする実践的な態度を涵養する。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術、情報の技術について、基礎的な理解とそれに係る技能、生活や社会、環境との関わりについて習得している。	生活や社会の中から技術に関わる問題点を見出して課題を設定し、試作等によって具体化し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切に技術を工夫し、実践しようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・実習、作品製作にかかわる実技	・定期テスト ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・振り返り ・レポート課題
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	家庭生活と消費 ・商品の選択と購入口	3
5	消費者被害と消費者の自立 ・身近な消費者被害 ・消費者の権利と責任	3
6		
7	持続可能な消費生活 ・消費生活が環境に与える影響	1
9	自分の成長と家族・家庭生活 幼児の生活と家族	2
#	幼児の生活と家庭 ・幼児と遊び	2
#	幼児の生活と家庭 ・家族や周囲の大人の役割	2
#	幼児が安心できる関わり ・幼児と関わる施設 ・幼児とのふれあい方	2
1	布を用いたものの製作(スウェーデン刺繍)	2.5
2		
3		
年間時数		17.5

2. 2学年技術・家庭科(家庭分野)の目標

(1)	(2)	(3)
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 方 法	期末考査・実習・実技テスト	ワークシート・課題・ワークシート・課題・話し合い活動の態度□	ワークシート・課題・ワークシート・課題・話し合い活動の態度□
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和8年度 3学年 英語科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	Unit1 Virtual Safari Daily Life 1 受動態② / SCOC (let+人・もの + 動詞の原形) / SVOO (tell + 人 + that 文)	40
5	Daily Life 2 Unit2 Our School Trip 現在完了形 (完了/経験)	
6	Unit3 Lessons from Hiroshima Active Grammar 1 現在完了形(継続) / 現在完了進行形 / 疑問詞 + to + 動詞の原形	
7	Let's Read 1 Visas for 6,000 Lives World Tour 1 Speak up!	
9	Unit4 AI Technology and Language 関係代名詞 which / who / that (主語) Goal 投稿文を読んで、自分の意見を書こう	
10	Let's Read 2 Kiving with Robots Unit 5 My Dreams for the Future 関係代名詞 which (目的語) / that (目的語) / 後置修飾(主語+動詞)	65
11	Daily Life 講演 Unit6 The Chorus Contest 後置修飾(動詞の-ing形) / 後置修飾(過去分詞) / 間接疑問文 /	
12	Active Grammar 2 後置修飾 Unit7 Tina's Speech If I could ... (仮定法) / I wish I could ... (仮定法)	
1	Unit8 Goodbye, Tina Let's Read 3 Changing the World	35
2	都立練習問題 Let's Read More 1~3	
3	3年間のまとめ 大切な人に手紙を書こう	
年間時数		140

2. 3学年英語科の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外交後で簡単な情報や考えなどを理解したり伝えあったりすることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	知識・・・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 技能・・・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現し、伝え合う技能を身につけている。	話すこと・書くこと・・・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えや気持ちを簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして伝え合っている。 聞くこと・読むこと・・・日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりした文章を読んだり聞いたりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて必要な情報や概要、要点などを捉えている。	話すこと・書くこと・・・日常的な話題や社会的な話題について、目的や場面、状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている。 書くこと・読むこと・・・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・確認テスト(単元まとめテストなど) ・リスニングテスト ・実技テスト ・発表活動	・定期テスト ・確認テスト ・リスニングテスト ・実技テスト ・発表活動(スピーチ等) ・課題(英作文等)	・テスト直し ・実技テスト ・各種テスト ・発表活動 ・授業中の取り組み ・課題や提出物等への取り組み
割 合	3分の1	3分の1	3分の1